

懇親会挨拶

東レ科学振興会 理事
科学技術振興機構 名誉理事長 中 村 道 治



ただいまご紹介いただきました当財団理事の中村でございます。

本日は東レ科学振興会の科学技術賞を受賞されました永長先生、胡桃坂先生、そして科学技術研究助成を受けられました小松先生をはじめ 11 名の先生方、本当におめでとうございます。日頃のたゆまぬご研鑽の賜物と心から敬意を表する次第です。

先ほど日覺会長がお話しされましたように、これまで当財団の科学技術賞を受賞された中から 3 名、研究助成を受けられた中から 2 名、合計 5 名の方がノーベル賞を受賞しておられるということでございます。今回受賞された方々にプレッシャーを与えるわけではございませんが、益々ご研鑽を積まれまして、一層素晴らしい成果を挙げられますことを心から期待申し上げます。

また、東レ理科教育賞文部科学大臣賞を受賞されました末谷先生をはじめ、佳作、奨励作を受賞された 9 名の先生方、本当におめでとうございます。先生方の創意工夫の経験とその成果が全国の先生方とも共有され、理科教育の発展のためにご活躍されることを祈念しております。

科学技術創造立国日本の次の時代を担う先生方が、それぞれの研究現場で熱意をもってご苦労ご努力をされていること自体が、わが国の宝ではないかと思えます。

また、「理科離れ」と言われて久しいわけですが、こうした状況の中でも生徒たちの科学に対する関心と、原理や現象を皮膚感覚で体得する様々な創意工夫を先生方が実践されている姿に、たいへん感銘を受けました。

今日の私たちの願いは、人々の幸せ、ウェルビーイングに繋がる、持続的で包摂的な発展です。このために科学技術に大きな役割が期待されています。科学技術は不確かで不安定な社会に希望をもたらします。科学技術ならびに理科教育に携わる方々は、是非誇りを持って明るい未来社会の実現に貢献していただきたいと思えます。

最後になりますが、これまで 60 年以上にわたって、一貫して日本の科学技術の発展にお力を注がれてきた東レ科学振興会と、各選考委員並びに審査委員の先生方のご尽力に感謝申し上げます。また、これをバックアップしていただいた東レ株式会社および東レグループの各社に深く敬意を表するものです。参列者を代表して御礼を申し上げます。

それでは、乾杯に移らせて頂きます。本日各賞を受賞あるいは助成を受けられました諸先生方の研究活動ならびに教育活動の益々のご発展と、東レ科学振興会の益々の発展、ご列席の皆さま方の一層のご健勝を祈念いたしまして、杯を上げたいと思います。ご唱和下さい。乾杯！